



CTIF 女性消防委員会に出席して

公益財団法人 日本消防協会国際部

4月14、15日の両日、ポーランド・ワルシャワで開催されたCTIF女性消防委員会に出席しました。沢山の緑地と公園があるため、大都市にもかかわらず安らぎと潤いを感じられました。会議はワルシャワ市の消防大学にて開催されました。

CTIF（国際消防救助協会）は、1900年に設立された消防・救助に関する国際的なネットワーク組織で、ヨーロッパを中心に36か国の消防協会等が加盟しており、加盟国の消防隊員・義勇消防隊員（消防団員）は約500万人、青少年義勇消防隊員は約65万人を擁しています。

日本消防協会は平成24（2012）年9月にスロバキアでの総会で加盟を承認され、主な活動は、シンポジウムの開催、国際競技会の開催、青少年消防指導者等に関する委員会や林野火災、空港消防、トンネル火災、消防教育、義勇消防等に関する委員会、ワーキンググループの開催のほか、加盟国で情報交換を行っています。女性消防隊員ワーキンググループへの日本の正式参加は、加盟した際の総会時に



ワルシャワ市内風景



ワルシャワ市内を走る電車

続き 2013年のセルビア・ベオグラードでの会議でした。一昨年9月29日には日本で「女性消防団国際会議」を開催した際、ワーキンググループ会議から女性消防委員会に昇格しました。

今回のCTIF女性消防委員会会議は第9回目となりますが、両日をかけて「女性消防隊員の活性化のための取組」についての発表と討論を行いました。参加国はアメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、オーストリア、ノルウェー、デンマーク、スウェーデン、フィンランド、オランダ、ポーランド、セルビア、スロベニア、日本の計14か国で、各国の参加者から発表がありました。

日本からは「日本における女性消防隊



女性消防委員会の会議



全国女性消防団員活性化佐賀大会

員の活性化」という観点から、女性消防団員参加による我が国の2大イベントの紹介を行いました。

その一つは、我が国の女性消防団員等の消防技術の向上と士気の高揚を図るため、「全国女性消防操法大会」を開催していますが、大会に参加した女性消防団員は350人、応援団等観客は約3,500人という大会で大いに盛り上がっている状況を発表するとともに、消防団防災学習兼災害活動車を活用した訓練なども紹介しました。

もう一つは、全国各地から約3,000人の女性消防団員が集う「全国女性消防団員活性化大会」を紹介しました。この大会は女性消防団員の日頃の活動やその成果を紹介し、意見交換を通じて連携を深めあい、女性消防団員の活動を一層活性化させることを目的として開催している



食堂でつろぐ学生

ものです。

これらの2大イベントの開催状況をたくさんの写真を活用しスライドで発表しましたが、このような女性消防団員の活性化のための大会は、他の国にはない我が国特有の大会であり、各国の参加者から驚きと称賛の意見をいただき大成功でした。

ポーランドの消防大学は、我が国の消防大学校とは異なり、高校を卒業後、将来の消防幹部職員になることを夢見て入学してくる学生を受け入れる大学です。彼らはここで4年間、消防関係の勉学に励み、卒業後、消防職員となって各地に配属されていく学生です。たくさんの学生が、将来、消防幹部になることを目指して勉学に励んでいる姿を目にしました。

おわりに、消防の分野に女性が進出することで発生する摩擦や、女性が妊娠、子どもを産み、家庭生活を営みながら消防の仕事続けるに当たっての課題などは、各国の消防において共通のものです。「消防」が女性において、より魅力的な活動分野として多くの女性が参加することができるよう、また消防に関わる多くの女性が活動しやすい環境を築けるよう、これからも国際的な情報の共有と連携を図っていきます。



消防大学の全景